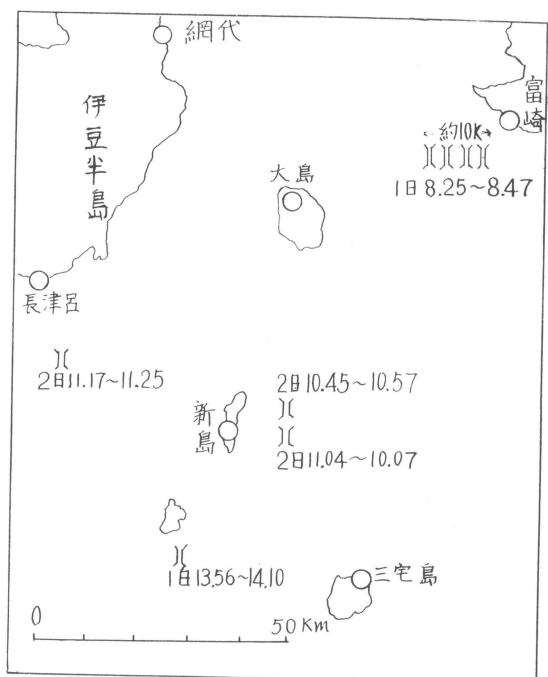


# 伊豆近海におけるたつ巻

(1963年2月1日 大島測候所)



発生期 2月1日 8時30分

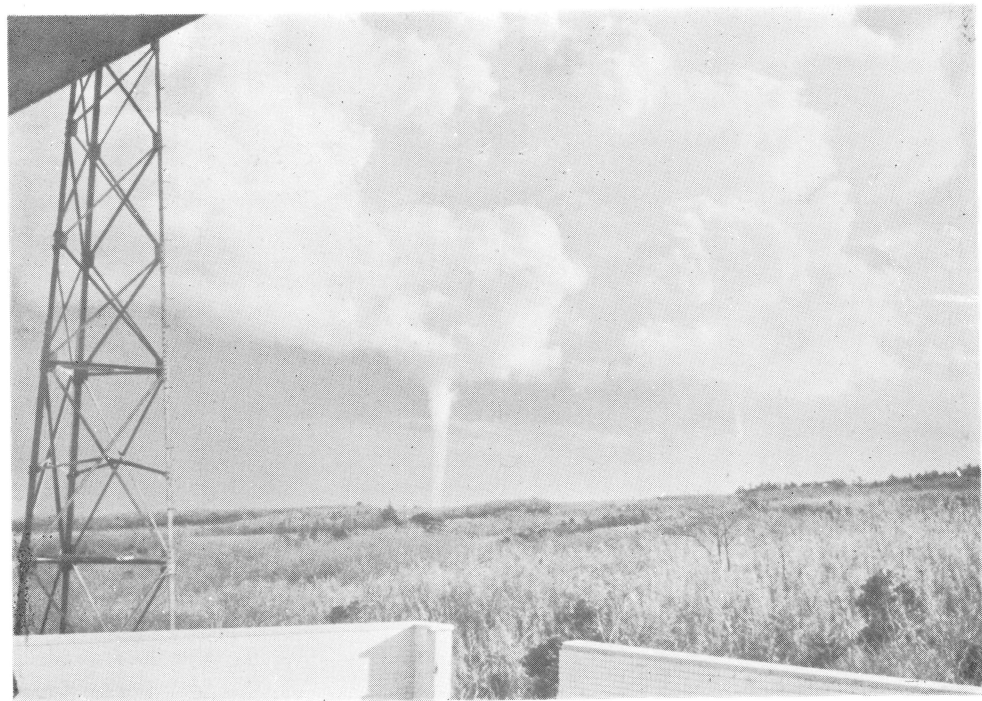


たつ巻の観測位置

伊豆近海はたつ巻の名所と云われるほどしばしば観測されるが、今回のように一両日で8本も見られたのは珍しいことである。

写真は2月1日に大島測候所から望見されたもので同じ雲から2本のたつ巻が同時にたれ垂つている。1日9時に本邦岸岸に沿つた寒冷前線が存在している。この前線が大島付近を通過する前面の雄大積雲によつてたつ巻が発生したものでこれに伴なう降水現象はなかつた。

8時25分から8時47分にかけて大島の東北東20~30 kmあたりにつきつぎと4本のたつ巻が巾約10 kmにわたつて発生し顕著なものは写真の2本で明らかに海面に接し海水が空に吸い上げられるのが観測された。1本のたつ巻の現象時間は大体13分前後であつた。



最盛期 8時40分



衰弱期 8時46分